

大分県育成会報

公益社団法人 大分県手をつなぐ育成会

発行 令和5年度 第3号(3月)

事務局 〒870-0907 大分市大津町2丁目1番41号 大分県総合社会福祉会館2F
TEL 097(551)1821 FAX 097(556)8923

印刷所 株式会社佐伯コミュニケーションズ



この会報は共同募金の配分を受けて作成したものです。

第8回全国手をつなぐ育成会連合会 愛媛大会の報告

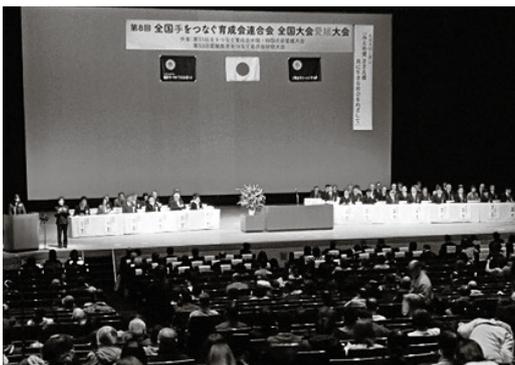
1月27日(土)～28日(日)の日程で、愛媛県松山市において「第8回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会愛媛大会」が愛媛県民文化会館で開催されました。

全国大会は2部構成となっており、育成会大会のテーマは「いきいきと愛顔(えがお)でくらす伊豫の国から」。スローガンは「みとめ愛、ささえ愛、共に生きる社会をめざして」。すまいる大会(本人大会)のテーマは「僕たちはここにいます」。大会スローガンは「つながる、つなぐれーみんな愉快な仲間だぜー」。各大会は3つの分科会に分かれ、それぞれの分科会で講演とシンポジウムが行われました。

全国手をつなぐ育成会連合会佐々木会長の挨拶では、来年度は障害者福祉サービスの報酬改定と障害者総合支援法の一部改正があり、育成会も人材不足や物価高騰など様々な問題がある中、障害のある人たちが安心して暮らしていけるよう働きかけていくとの話がありました。

大会式典の後、愛媛県出身のテノール歌手である秋川雅史さんが記念講演を行い、代表曲である「千の風になって」の披露で会場は大いに盛り上がり、大会宣言を決議し閉会となりました。

大会決議文を掲載していますので、ご覧ください。



式典風景



大会会場



会場入口看板

第八回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会愛媛大会

大会決議文

今大会の成果を踏まえつつ、愛媛から、育成会活動の「新たな一歩」を全国に発信するため、次の事項を決議し、政府をはじめとする関係機関へ要望いたします。

- 一、近年の急激な物価高騰を踏まえ、障害基礎年金が収入の大半を占める非課税世帯の障害者に対し、緊急的な生活支援策を早急に検討・実施すること。
- 一、国連障害者権利条約の対日審査結果、とりわけ第十二条(法の下での平等)、第十九条(地域生活)、第二十四条(教育)、第二十八条(相当な生活水準)の勧告および「強い要請」の内容に照らして国内の障害者施策を点検し、障害当事者の声を踏まえつつ、早急に必要な法制度の改善を進めること。
- 一、共生社会の実現に向け、津久井やまゆり園事件を契機に開始された「基本理念の普及啓発・研修」事業を大幅に拡充した上で、令和六年度以降も引き続き全国各地で福祉の理念を普及させる事業を展開すること。
- 一、成年後見制度については、あり方を抜本的に見直す議論において「必要な時にのみ利用する」仕組みが検討されていることを踏まえ、成年後見制度だけに頼ることなく、真に利用しやすい権利擁護の仕組みを確立すること。
- 一、入所施設だけでなく、グループホームを含む特定生活施設に住むことを義務付けられることなく、知的障害者と家族が本人にとってより良い「暮らしぶり」を選択できるよう、今後の障害福祉サービス等のあり方について支援体制の整備や専門人材の育成を進めること。
- 一、知的障害をはじめとする障害のある児童・生徒と保護者がその子にとってより良い「学び方」を選び取ることを基本として、一人ひとりのニーズに応じた教育的支援を切れ目なく受けることができ、地域の子どもたちと共に学べるよう、インクルーシブ教育の実現を目指す中で個々の障害児の学びの保障を実現する方策を講じること。

一、障害基礎年金の判定基準を見直し、精神障害の「一類型」ではなく「知的障害」という従来の障害であることを明確にするとともに、給付額についても生活保護制度に定める最低所得水準の保証をすること。

一、「療育手帳(愛の手帳・緑の手帳など)」は現に療育手帳の交付対象となっている人が不利益にならないことを前提に、今後判定に関する研究を進め、全国統一的な判定基準の導入をすること。また、手帳のカード化を選択できるようにすること。

一、重度障害のある人や高齢期を迎えた人も暮らし続けることができるグループホームを整備するとともに、グループホーム家賃補助制度について、金額の引上げと地域別基準額の設定などの充実を図るとともに、一人暮らしなど暮らしの選択肢を広げるため、制度の一般住居への拡大を図ること。

一、障害児を育てる保護者の就労保障と、子どもの育ちが両立できる制度、サービスを整えること。あわせて児童期における親子支援やヤングケアラー問題を含む兄弟姉妹への支援を充実させ、地域からの孤立を防止すること。

一、障害者の虐待防止について、養護者や障害福祉サービス従業者等、使用者による虐待が発生しないよう教育、研修体制をさらに充実させること。

一、育成会の活動は知的障害のある人本人が中心であり、全国各地で本人活動を積極的に支援し、本人の声を実現すること。そのためにも、各育成会は積極的に関与のある人を役員として迎え入れ、全育連では知的障害のある人が役員として活躍するために必要な配慮などの検討を進めること。

以上、決議します。

令和六年一月二十八日

第八回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会愛媛大会 参加者一同

(3)

だい かいぜんこく て いくせいはいれんごうかいぜんこくたいかい え ひめたいかい
第8回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会愛媛大会
すまいる大会 (本人大会) 大会決議文

しんがた えいほう で き さんねん ぜん
新型コロナウイルスの影響でいろいろなことが出来なくなっていたけど、ようやく三年ぶりに全
こくたいかい たいめん じつげん
国大会が対面で実現しました。

これまで、全国の仲間たちと会えなかったことは大変寂しく心細い思いでした。

ひさ ぶりに あ なかま ぶろこ かお つづ しゃかい ねが
久しぶりに会えた仲間たちの喜ぶ顔がこれからも続いていくような社会になっていくことを願
い、以下、全国大会の本人決議宣言をいたします。

- 1、わたしたちのことを私たちが決めるためにサポートをしてください。
- 2、どこで誰と生活するかは自分で決めさせてください。
- 3、私たちが一人でもイベントなどに参加できるよう必要な支援をお願いします。
- 4、療育手帳の名前や内容は全国で同じにしてください。見せやすいようにカードにしてください。
- 5、私たちがこれから年を取ります。親なき後の自立支援のサポートをお願いします。
- 6、自分たちでも努力するので、書類や事務手続きの内容をもっとわかりやすい文章にしてください。
- 7、いじめ、差別、虐待のない、安心して暮らせる社会になってほしいです。
- 8、障害者手帳を持っている人はみんな、一人ぐらしでも生活ができる程度の障害基礎年金が受け
と
取れるようにしてください。
- 9、私たちが災害や地震にあったとき、どんな状況なのか、その時にどうやって動いたらいいの
おし
か教えてください。

いじょう けつぎ
以上を決議します。

れいわ ねん がつ にち
令和6年1月28日

だい かいぜんこく て いくせいはいれんごうかいぜんこくたいかい え ひめたいかい
第8回全国手をつなぐ育成会連合会全国大会愛媛大会

「すまいる大会」 参加者一同

行政からの施策紹介

令和6年度以降の発達障害児・者に対する支援（大分県障害福祉課）

①早期発見、早期支援の取組充実

i 「子どもの発達支援コンシェルジュ」の配置

保護者や保育所等からの相談対応及び当該児童に関する支援先の受入調整を行うコンシェルジュを各圏域に配置

ii 「医療連携コーディネーター」の配置

専門医療機関の診断待機状況の情報収集及び提供、受入調整を行うコーディネーターを配置

iii 5歳児健診への医師派遣

就学までの適切な支援に繋げるため、市町村が実施する5歳児健診等へ専門医を派遣

iv かかりつけ医等の発達障がい対応力向上研修の実施

地域の小児科、かかりつけ医等を対象に発達障がいの相談や診療に応じるための専門的な研修を実施

②家族等への支援

i 特性の理解や関わり方を学ぶペアレント・プログラムの実施（③にも関連）

保護者に対し、発達障がいに関する理解と関わり方を学ぶ研修を実施するとともに、児童発達支援センターや認定こども園の職員等を対象にファシリテーターを養成し、各地域で保護者支援を行う体制を整備

ii ペアレントメンターの派遣

保護者の育児に関する不安を傾聴し助言するペアレントメンターを派遣（ECOALのSV派遣で実施）

③切れ目ない支援のための基盤づくり

i 発達障がい者支援センターの運営

発達障がいに関する県の中核拠点として相談支援、専門的研修、支援者養成、普及啓発を実施

ii 発達障がいに関する地域別研修会の実施

保育士、児発の職員等の支援者の資質向上を図るため、医療や相談支援ファイル活用等の研修を実施

iii 医療、福祉、保健、教育、行政の連携強化を図るためのネットワーク会議の実施

専門医療機関、コンシェルジュ、ECOAL、行政等による協議体を構成し、連携や支援の在り方を協議

④早期支援関連事業

i 障がい児の早期支援に向けた児童発達支援事業等の利用に係る保護者負担の免除

障がい児への早期支援を促すため、未就学児の児童発達支援等の利用に係る保護者負担を全額免除する市町村に対して助成

ii 障害児等地域療育等支援事業

在宅の障がい児（者）やその他療育が必要と認められる障がい児等の地域における生活を支えるため、各地域で療育等を実施

第27回大分県ふれあいフライングディスク大会が開催されました

令和6年3月2日(土)に、第27回大分県ふれあいフライングディスク大会が、大分スポーツ公園レゾナック武道スポーツセンターで開催されました。今回は県下各地の11施設から99名の参加がありました。

大会は平成31年3月以来の開催で、今回は風や気温に影響を受けない武道スポーツセンターでの屋内開催ということでしたが、参加者全員が楽しく、しんげんに競技に取り組んでいました。

また、ご来賓の方々には、表彰式でのメダル授与等もお手伝いいただき、ありがとうございました。

結果は以下のとおりです。

フライングディスクは、安全で気軽に始めることのできる障がい者に適した競技です。

大分県障がい者フライングディスク協会では、講習会も開催していますので、競技力の向上を目指す方、興味を持って始めようとする方の参加をお待ちしています。

団体の部(アキュラシー5m)

- 1位 もみじ園
- 2位 ほろんの郷B
- 3位 杉の木会
- 4位 太陽の家 (Adventure)
- 5位 ほろんの郷A

個人の部(アキュラシー5m)

- 1位 栗林 素彦(ほろんの郷)
- 2位 齊藤 満広(杉の木会)
- 3位 舛田 雅之(太陽の家)
- 4位 佐藤 精一(小松寮)
- 5位 佐藤 美子(もみじ園)

個人の部(アキュラシー7m)

- 1位 木部 毅(別府フライングディスククラブ)
- 2位 栗原 福松(ほろんの郷)
- 3位 甲斐 尊久(小松寮)

入賞された皆さん

おめでとうございます

フライングディスクに関する問い合わせは

大分県障害者フライングディスク協会(097・551・1821)へ



大会会長あいさつ



選手宣誓
小野智也 (ややま園)



団体優勝
もみじ園



個人の部表彰



【絵画・写真コンテスト】作品募集

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）より、令和6年度絵画・写真コンテスト作品募集のお知らせがありました。

《絵画コンテスト：働くすがた ～今そして未来～》

- 募集作品 働くこと、または仕事に関係のある内容のもの
- 応募資格 障害のある方（プロ以外であること）
- 応募部門 小学校の部／中学校の部／高校・一般の部

《写真コンテスト：職場で輝く障害者 ～今その瞬間～》

- 募集作品 障害のある方の仕事にスポットをあて、障害のある方が働いている姿を撮影したもの
- 応募資格 障害の有無は問いません（プロ以外であること）

.....

募集期間 令和6年3月1日（金）から6月17日（月）※消印有効
 賞 絵画コンテスト（部門ごと）、写真コンテストで選考を行い、厚生労働大臣賞1点、支援機構理事長賞1点、理事長奨励賞数点をそれぞれ選出します。

募集要項 支援機構HP <https://www.jeed.go.jp/>



応募者全員に記念品をプレゼント！



お問い合わせ 障害者雇用開発推進部 雇用開発課 指導啓発係 電話 043-297-9515



相談員研修会報告

3月9日（土）に県福祉会館で開催された相談員研修会に、育成会役員で参加しました。
 今年度の設定テーマ「医療的ケア児の現状と支援」についての講演と事例発表でした。
 事例発表では、5歳児の介護を行っている家族の生活の様子をビデオで解説しながらの発表でした。日常生活は大変ですが、災害時に支援の必要な子がここにいることを周囲の人に知ってもらうことを心掛けていくとのことでした。
 障がいの違いはあるにせよ、普段から近所とのコミュニケーションが共生社会にとって大切だと思います。

育成会各大会のお知らせ

- 第50回大分県手をつなぐ育成会県大会
 開催日 令和6年9月1日(日)
 開催地 佐伯市
- 第9回全国手をつなぐ育成会連合全国大会
 開催日 令和6年10月12日(土)
 開催地 秋田市
- 第63回九州地区手をつなぐ育成会開催日 令和6年11月9日(土)
 開催地 宮崎市



各地の育成会からの 活動報告

大分市手をつなぐ育成会

令和6年1月11日（木）に、ホルトホール大分で「20歳（はたち）の記念祝賀会を開催しました。会場には約四百名の関係者が集まり、式典の後はドラム演奏とジャグリングのアトラクションで楽しみました。



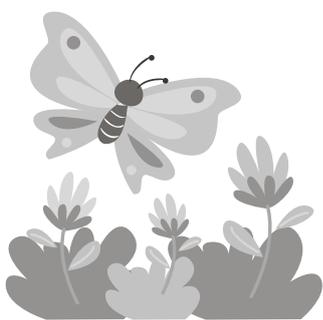
今後も各支部の活動状況をお知らせしますので、情報提供をお願いします。

能登半島地震 災害義援金について

今年1月に発生した「令和6年能登半島地震」では甚大な被害が生じました。大分県手をつなぐ育成会では、県内の育成会関係者を通じて義援金を募ったところ30万円の温かいお気持ちをいただくことができました。

この義援金は、全国手をつなぐ育成会連合会を経由して、能登半島地震で被災された知的・発達のある育成会会員へお届けすることとなっています。

ご協力ありがとうございました。



「機関誌」手をつなぐ 購入のお願い

全国手をつなぐ育成会連合会機関誌「手をつなぐ」は、中央情勢・全国各地の育成会の活動を掲載し、特集コーナーでは教育・福祉・就労・医療等の最新情勢がわかりやすく掲載されています。お申し込みは県育成会事務局までご連絡ください。

年間購読料3,900円

障がい者スポーツ大会の 開催

第19回大分県障がい者スポーツ大会が大分スポーツ公園他で開催されます。参加申し込みは各市町村の障がい者スポーツ担当課へ。

5月11日（土）卓球

5月12日（日）ボッチャ

5月18日（土）フライングディスク

陸上

5月19日（日）水泳

編集後記

今年は年初から能登半島地震が発生し、波乱の年明けとなりました。マスコミでは地震の被災状況の報道がひと段落すると避難所生活の様子や今後の行政の対応などの報道が始まります。

避難所では当初は老若男女、多種多様な生活をしている人が共同生活をします。そんな人たちに対応する自治体やボランティアの人たちには、感謝の気持ちでいっぱいです。

全国大会の本人大会の決議文の中にあつた「災害や地震にあつた時、どんな状況なのか、その時にどうやって過ごしたらいいのか教えてください」このような人たちが被災者の中にいることを常に気に留めて、活動していただくことを願います。（N・S）

病気やケガが絶えない・・・
成人病や生活習慣病に備えたい・・・



他人の物を壊してしまった・・・



このようなお困り事に
心当たりがある方に・・・



虐待・雇用現場での差別など
・・・人に相談しにくい悩みがある・・・

障がいのある方とご家族へ



ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康総合保険(無告知型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

知的障がい・
発達障がい、ダウン症、
てんかんのある方、
ご家族に

弁護士が
全面的に
サポート

特別支援教育を必要とされている方へ



ぜんちの

こども傷害保険

権利擁護賠償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート



※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。
ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5 九段北325ビル4階

0120-322-150

平日10時～16時/土日・祝日・年末年始を除く

URL: <http://www.z-kyosai.com/>



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

【2024年1月作成：23TC-006826】